



台風第9号（平成19年9月）による被災状況（群馬県南牧村）

# 今こそ再確認 山地災害に備える

梅雨期は山地災害が多く発生する時期です。

特に近年は局地的な集中豪雨が多発しており、

今後の地球温暖化の影響も気になるところです。

林野庁では毎年、梅雨期を迎えるこの時期に、国民の皆様にご注意を呼びかけるため

「山地災害防止キャンペーン」を実施し、さまざまな活動を進めています。

# 山地災害を未然に防ぐ体制の強化を

## 地球温暖化の影響により 集中豪雨が増加のおそれ

毎年、日本では山地災害が多発しています。我が国は、地形が急峻であること、地震や火山活動も活発に起こっていること、そして年間降水量は世界平均の約二倍もあり、梅雨前線や台風による集中豪雨も起こりやすいことなどから、もともと山地災害が発生しやすい状況にあります。

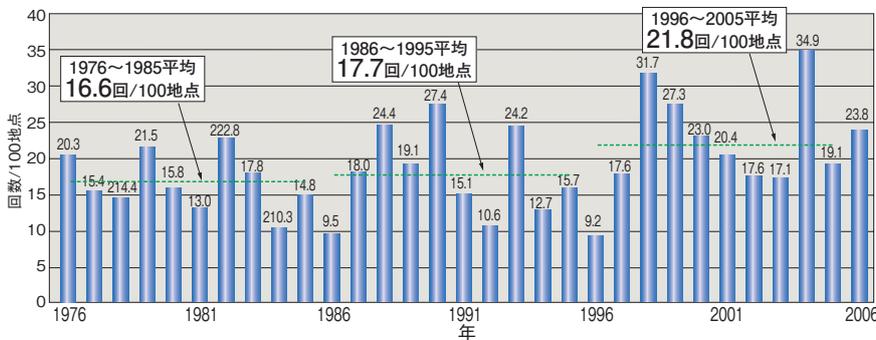
さらに近年は、地球温暖化の影響により局的豪雨が頻発する傾向が強まっており（グラフ参照）、それに伴って山地災害のリスクも高まっています。また、大雨をもたらす大型の台風の発生も多くなっています。

山地災害は、ある日突然に起こります。このため、私たちは常に山地災害の危険と隣り合わせに暮らしていることを認識し、日頃から災害に備えておくことが大切です。

国民の皆さんの山地災害に対する関心を深め、山地災害による被害を少しでも軽減させるために、林野庁では梅雨を迎える五月二〇日（火）から六月三〇日（月）までの期間、「山地災害防止キャンペーン」を実施します。このキャンペーンでは、山くずれや土石流、地すべりなどの山地災害を未然に防ぐため、各

都道府県や市町村と連携し、さまざまな活動に取り組みます。このキャンペーンを機に、それぞれの地域の皆さんが身近にある危険箇所を確認したり、避難体制を整えることなどにより、山地災害に備えていただきたいと思います。

1時間降水量50mm以上の発生回数



資料：気象庁資料より

注：(1) 全国約1300地点のアメダスによる1時間降水量50mm以上の100地点当たりの年間延べ発生回数。

(2) 1時間降水量50mm以上の降雨とは「非常に激しい雨」で、「滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）」状態。

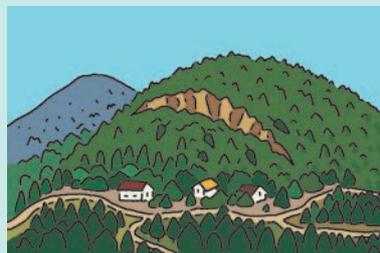
## 山地災害が起こりやすい箇所とは

### 山くずれが 起こりやすいところ



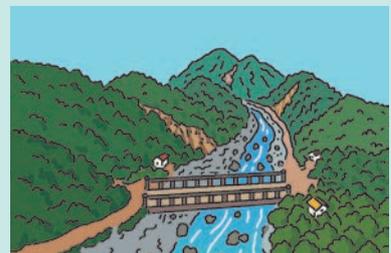
- ・山の傾斜に亀裂やわき水がある
- ・岩石がもろく、くずれやすい地質である
- ・過去に山くずれがあった
- ・山くずれがあった場所に隣り合っている
- ・急斜面で軟弱な地盤がある
- ・水の集まりやすい斜面地形である
- ・ときどき落石がある

### 地すべりが 起こりやすいところ



- ・過去に地すべりのあったところで、今も少しずつ動いている
- ・わき水や地下水が豊富である
- ・断層や、もろくくずれやすい岩石がある
- ・火山や温泉の影響で粘土化した土がある

### 土石流が 起こりやすい渓流



- ・渓流の勾配が急である
- ・渓流に大きな石がごろごろしている
- ・たくさんの土砂が堆積している
- ・上流が山くずれなどで荒れている
- ・過去に土石流があった